

9. 自然災害（地震、風、雨など）・ 火災対策の推進

(1) 気象観測機器

風速計 15 カ所、雨量計 8 カ所、地震計 8 カ所、河川監視カメラ 3 カ所、急傾斜法面監視カメラ 9 カ所を沿線に設置し、気象状況の観測と要注意個所の監視をしています。



風速計



地震計



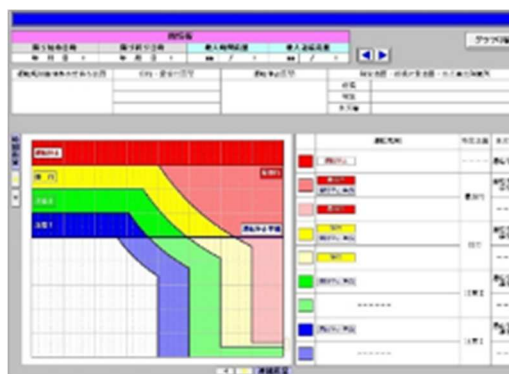
河川監視カメラ(上)とその映像(下)



急傾斜法面監視カメラの映像

(2) 雨量監視システム

京阪線 5 カ所、大津線 3 カ所に設置した雨量計のデータをもとに、線路脇の法面の降雨に対する強度を勘案して運転規制を行います。

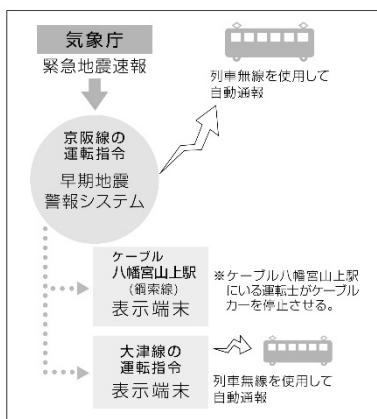


雨量計(上)と雨量監視システム(下)

(3) 早期地震警報システム

京阪線の運転指令所にシステムを設置し、気象庁から配信される緊急地震速報を利用して、当社線沿線で震度4以上が予測される場合は、列車無線を使用して音声メッセージなどを全列車に自動的に通報することにより、大きな揺れが到達するまでに列車を停止させ、被害の最小化を図ります。また、大津線・鋼索線にも表示端末を設置し、システムから地震情報を受信できるようにしています。

◆早期地震警報システムの概要図



(4) 構造物の補強対策

▶高架橋および駅の耐震補強

地震に対する安全性を向上させるため、耐震補強を進めています。



補強工事後

▶落橋対策

大規模地震時に橋桁が橋台から落下するのを防ぐため、落橋防止装置を設置しています。



▶橋脚の洗掘対策

大雨に伴う増水時でも河川の流れによって橋脚が洗掘しないよう、京阪本線の宇治川橋梁（石清水八幡宮駅～淀駅間）の橋脚補強工事を実施しました。2016年10月より着手し、2018年6月に完了しました。



補強工事前の橋脚



補強工事後

(5) 火災対策

▶防火防煙シャッター

火災時の被害拡大を防止するため、防火防煙シャッターをはじめとした火災対策設備を設置しています。



防火防煙シャッターが下りた状態

▶地下駅の防災監視システム

地下駅に設けた消火設備、排煙設備、避難誘導設備、通報設備、警報設備などの防災設備の状況を24時間一元監視しています。



地下線防災監視盤

(6) その他対策

▶軌道自転車

地震発生後や台風通過時の施設点検をより迅速に行えるよう導入しました。2020年度末時点で3カ所に配備しています。



○列車運行情報配信システムの改修

列車運行情報配信システムとは、京阪線全60駅の改札口に設置されている旅客案内ディスプレイを通じ、異常時に運行情報を配信するシステムで駅一斉に計画運休等の詳細な運行情報配信について4言語対応の異常時放送を実施しています。

駅等での無用の混乱を防止するだけでなく、お客さまへの早めの行動判断を促すことを目的として、2019年12月から大津線路線図の追加と台風や地震等の大規模災害が発生した際に実施されるNHK緊急時災害放送を放映できるよう改修いたしました。

